

# 日本学生支援機構 予約奨学金説明会

2022年5月2日（月）9日（月）実施

# 奨学金説明会の配付物

- 奨学金説明会レジュメ
- スカラネット入力用プリント  
(レジュメの裏面)
- 日本学生支援機構の大封筒
- レポート用紙「学修意欲の確認」
- 「国の教育ローン」チラシ

# 大封筒の中身

## 次の5点が入っているか確認

### ① 奨学金早わかりガイド



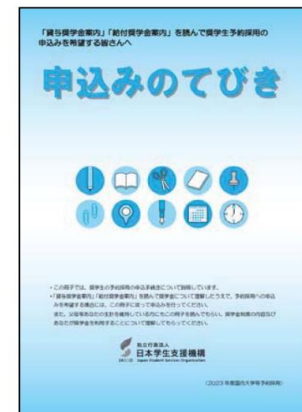
### ② 給付奨学金案内



### ③ 貸与奨学金案内



### ④ 申込みのてびき

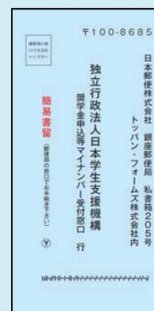


### ⑤ マイナンバー提出書のセット

#### ⑤-1 マイナンバー提出書

#### ⑤-2 説明資料

#### ⑤-3 提出用封筒



①～⑤の申込関係書類一式は、封筒に封入した形で各学校にお送りします。

① 奨学金早わかりガイド



② 給付奨学金案内



③ 貸与奨学金案内



④ 申込みのてびき



①早わかりガイド

②③給付／貸与奨学金案内

→必要な所を読んで理解しよう

④申込みのてびき【重要】

→具体的な申込み方法がわかる

→「様式集」がはさみ込んである

【令和5年度進学者用 大学等予約採用】

### 「マイナンバー提出書」のセット

(内訳) ・「マイナンバー提出書」  
・【重要】マイナンバー (個人番号) の提出方法  
・「提出用封筒」

スカラネット(インターネット)で奨学金を申し込み受付番号が発行された後、「マイナンバー提出書」によりマイナンバーを提出(郵送)してください。

- スカラネット(インターネット) 入力
  - この中の「マイナンバー提出書」に印字されている「申込ID」と「パスワード」を使って、スカラネットにより、奨学金を申し込みください。
  - 学校から交付される「識別番号(ユーザID・パスワード)」の入力も必要です。
- マイナンバーの提出(郵送)
  - 奨学金申込本人(生徒・学生)と生計維持者のマイナンバーを提出してください。
  - 同封されている「提出用封筒」(水筒)を使用して、郵便用の窓口から、簡易書留により郵送してください。

マイナンバーの提出期限: スカラネットで申込完了(受付番号発行)後 << 1週間以内 >>

独立行政法人 日本学生支援機構  
Japan Student Services Organization  
JASSO <http://www.jasso.go.jp/>



### ⑤ マイナンバー提出書のセット

#### ⑤-1 マイナンバー提出書

#### ⑤-2 説明資料

#### ⑤-3 提出用封筒

## ⑤ マイナンバー提出書のセット 【重要】

- スカラネット用の個別のIDとパスワードが封入してあるためのり付けしてある (自宅で開封)
- マイナンバーを郵送するための書類と専用封筒が入っている

# 1. 奨学金の概要

# 奨学金の概要【種類】

## 早わかりガイド P.2より



- 給付型 → 返還不要
- 貸与型 → 返還が必要  
(第一種：利子なし 第二種：利子あり)

奨学金の種類		利子	奨学金の交付方法
給付奨学金（原則、返還不要）		—	毎月1回振込み
貸与奨学金 （返還必要）	第一種奨学金	無利子	毎月1回振込み
	第二種奨学金	有利子 （在学中は無利子）	毎月1回振込み
	入学時特別増額貸与奨学金		初回振込時に1回限り

# 奨学金の概要 【申込み手続き】

## 早わかりガイド P.3より

### 申込み手続き

- ①学校から関係書類を受け取る(5/2~)
- ②インターネットで申し込む  
(スカラネット入力: 5/27×切)
- ③マイナンバーを簡易書留で郵送  
(スカラネット入力後1週間以内)
- ④申込書類を学校に提出 (速やかに)



# 奨学金の概要（つづき） 早わかりガイド P.3より

⑤学校に「採用候補者決定通知」が届く（スカラネットでも確認可）

＝＝＝＝＝進学先に入学後＝＝＝＝＝

⑥進学先に「採用候補者決定通知」を提出

⑦スカラネットで「進学届」提出

## 2. 給付奨学金

# 給付奨学金の申込資格 給付奨学金案内 P.3より



2023年3月 **新卒者** or **卒業後2年以内**の者

## (1) 申込資格

① 初めて高校等（本科）を卒業予定又は卒業後2年以内（※1）の者で、次年度に大学等へ進学（又は高等専門学校4年次に進級）予定であること（※2）

（※1）高等専門学校の場合は、3年次生又は3年次を修了後2年以内の者。

（※2）高校等卒業後2年以内であっても、大学等へ進学して給付奨学金を受けたのちに退学や辞退した人については、あらためて給付奨学金を受けることはできません。

② 日本国籍を有する者 又は

外国籍の人で次のいずれかに該当する者

- ・ 「法定特別永住者」
- ・ 在留資格が「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」である人
- ・ 在留資格が「定住者」であって、将来永住する意思がある人  
(在留資格が家族滞在の人や定住者で永住の意思がない場合、採用されません。)

# 給付奨学金の選考基準【学力基準】

## 給付奨学金案内 P.3より

- **学力基準**と**家計基準**の**両方を満たす**必要あり
- **学力基準**は①**評定平均3.5以上** or ②**進学先での学修意欲を有すること**
- 評定平均3.5未満の者は**レポートの提出**により学修意欲を判断する  
→**レポートは担任を通じて進路へ**

# 給付奨学金の選考基準【家計基準】

## 給付奨学金案内 P.4より

### 家計基準は収入基準と資産基準の両方

#### 収入基準

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生等

以下の支援区分（第Ⅰ区分～第Ⅲ区分）のいずれかに該当すること

支援区分	年収の目安（※）
【第Ⅰ区分】住民税非課税世帯の者	約270万円以下
【第Ⅱ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯の者	約300万円以下
【第Ⅲ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯の者	約380万円以下

※ 年収の目安は、両親、本人、中学生の4人世帯を想定したものです。

- 生徒本人と本人の生計を維持する者（生計維持者（原則として父母））の所得等に基づき、家計基準に該当するかどうか、提出されたマイナンバーにより機構が審査します。

（具体的には、2021年1月～12月の収入に基づく2022年度の住民税情報に基づいて審査します。）

#### 資産基準

本人及び生計維持者の預貯金、有価証券、現金等の資産（不動産、負債は対象としない）の合計額が基準額未満であること（生計維持者が1人の場合：1,250万円、2人の場合：2,000万円）

- 資産に関する証明書（通帳の写し等）の提出は不要

# 収入基準に該当するか調べる 給付奨学金案内 P.4より

## ■進学資金シミュレーター

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

「進学資金シミュレーター」の「給付奨学金シミュレーション」では、給付奨学金制度の対象になりそうかどうかを調べることができます。

(注) シミュレーション結果と実際の審査結果は必ずしも一致しません。

### ◆給付奨学金シミュレーション（生徒・学生向け）

いくつかの質問に答えることで、給付奨学金を受けることができる年収の**おおよその目安**を知ることができます。

### ◆給付奨学金シミュレーション（保護者の方向け）

世帯の年収等を答えることで、給付奨学金を受けることができそうかを知ることができます。

ご利用にあたって不明な点や詳しい利用方法については、機構のホームページ掲載「給付奨学金シミュレーションかんたんガイド（生徒・学生向け）」「給付奨学金シミュレーションご利用の手引き」をご覧ください。

※**貸与奨学金のシミュレーション**も行うことができます。



# 給付奨学金の支給金額

## 給付奨学金案内 P.7より

### (1) 大学・短期大学・専修学校（専門課程）

(月額)

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 (住民税非課税世帯の者)	29,200円 (33,300円)	66,700円	38,300円 (42,500円)	75,800円
第Ⅱ区分 (住民税非課税世帯に準ずる世帯の者)	19,500円 (22,200円)	44,500円	25,600円 (28,400円)	50,600円
第Ⅲ区分 (住民税非課税世帯に準ずる世帯の者)	9,800円 (11,100円)	22,300円	12,800円 (14,200円)	25,300円

- **第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます**（給付奨学金案内p.8参照）  
（希望月額が貸与されない（一定の期間0円となる）場合があります。） ☞ 「併給調整」といいます。
  - 「自宅通学」とは、あなたが生計維持者（父母等）と同居している（またはこれに準ずる）状態のことをいいます。進学後の手続きにおいて、「自宅外通学」の月額を選択する場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要です。
  - 生活保護（扶助の種類を問いません。）を受けている生計維持者と同居している人及び進学後も児童養護施設等（※）から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。
- ※「児童養護施設等」とは、児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設（情緒障害児短期治療施設から改称）、児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）を行う者、小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）を行う者、里親を指し、これ以降の説明では、これらの施設等に在籍している人を「社会的養護が必要な人」といいます。

※生計維持者の収入や通学の区分、国公立か私立か等で、金額が異なる

# 入学金・授業料の減免について 給付奨学金案内 P.13より

- 給付奨学金の支給対象の学生は、**入学金・授業料の減免も同時に受けられる**
- 減免の手続きは、進学先の学校での申込みが必要
- 進学先の学校が家計基準や学業成績の基準に関する判定を行う（**適格認定**という）
- 判定の結果、支援が打ち切られることあり。  
毎年2回、**継続手続きが必要**



# 3. 貸与奨学金

# 貸与奨学金のポイント

## 貸与奨学金案内 P.1より



- 貸与奨学金は「あなた自身が借りる」もの  
→ 将来あなたが返還していく義務あり
- 借り過ぎに注意 → 学費として本当に必要な金額だけ借りる
- 返還が困難になった場合、返還期間の延長  
や返還期間の先延ばし制度がある
- 振込みは進学後に始まる → 進学前に納入が必要な入学金には使えない

# 貸与奨学金の種類

## 貸与奨学金案内 P.2より

第一種：利子なし

第二種：利子あり

入学時特別増額貸与：利子あり→初回の振込み時に1回限り

	第一種奨学金	第二種奨学金	入学時特別増額貸与奨学金
利子	無利子	有利子 (在学中は無利子)	有利子 (在学中は無利子)
貸与方法	奨学生本人名義の普通預金・通常貯金口座への <u>毎月の振込</u>		第一種又は第二種奨学金の 初回の振込時に 増額して振込 ( <u>1回限り</u> )

# 貸与奨学金の利用組み合わせ

## 貸与奨学金案内 P.2より

- ① 第一種と第二種は併用可能（ただし返還が大変。利用は慎重に）
- ② 貸与奨学金と給付奨学金の併用可能（第一種の貸与金額制限あり）
- ③ 入学時特別増額貸与は単独利用不可
- ④ JASSO奨学金と民間の奨学金が併用可能かどうかは、当該団体に要確認

# 貸与金額【第一種】

## 貸与奨学金案内 P.4より

### 第一種奨学金

申込時における生計維持者の収入が一定額以上の場合、最高月額以外の月額から選択（最高月額は選択不可）。  
給付奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます。（希望月額が貸与されない（一定の期間中0円となる）場合があります。） ⇨ 「併給調整」といいます。

区分	大学				短期大学・専修学校（専門課程）・高等専門学校（4・5年生）			
	国公立		私立		国公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
最高月額 以外の月額		40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円

- 大学かその他の学校か／国公立か私立か／自宅か自宅外通学かで、借りられる月額が異なる
- 生計維持者の収入が一定額以上の場合、最高月額は選択不可

# 貸与金額【第二種・入学時特別増額貸与】 貸与奨学金案内 P.4より

## 第二種奨学金

希望額を選択できます

	大学・短期大学・専修学校（専門課程） ・高等専門学校（4・5年生）
貸与月額	2万円 ～ 12万円（1万円単位）

- 私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学の課程の場合、12万円を選択した場合に限り次の増額が認められます。  
医学・歯学の課程・・・4万円（合計16万円）  
薬学・獣医学の課程・・・2万円（合計14万円）

## 入学時特別増額貸与奨学金

希望額を選択できます

	大学・短期大学・専修学校（専門課程）
貸与額	10万円 ～ 50万円（10万円単位）

- 第二種は借りる金額を選べる（2万～12万）
- 私立大の医・歯・薬・獣医学部は、12万+増額可（2万～4万円）
- 入学時特別増額貸与は、借りる額を10万～50万から選べる（10万円単位で）

# 貸与奨学金の申込資格と選考基準

## 貸与奨学金案内 P.6~7より

- **申込資格**は給付奨学金と同じ →p. 6
- **選考基準**は学力基準と家計基準の両方
- **学力基準**は次のとおり →p. 7
  - 第一種** : 評定平均3.5以上
  - 第二種** : 学習成績が平均水準以上  
→ 千里生は全員が当てはまる
- **家計基準**は世帯人数により異なる →p. 7

# 貸与奨学金の保証制度の選択

## 貸与奨学金案内 P. 11～12より

- **機関保証**と**人的保障**のいずれかを選ぶ
- **機関保証**とは : p. 27も参照  
保証料を支払って機関に連帯保証して  
もらう→連帯保証人を依頼できない場合
- **人的保証**とは :  
連帯保証人（原則、父母）と  
保証人（原則、おじ・おば等）を選任



# 貸与奨学金の保証制度つづき

## 貸与奨学金案内 P. 11～12より

- 保証制度とは、あなたが奨学金の返還を延滞した時などに代わりに返還義務を負うため設けられている
- 保証料を支払っていれば「奨学金を返還しなくていい」わけではない
- 連帯保証人・保証人は進学時に選任する
- 連帯保証人・保証人になれる人の条件をP. 12の表で確認しておくこと

# 貸与奨学金の返還方法の選択

## 貸与奨学金案内 P.14より

- 第一種は「所得連動返還方式」か「定額返還方式」のいずれかを選ぶ
- 第二種と入学時特別増額貸与は「定額返還方式」のみ
- P.26の「返還例」などを参考に検討する
- 奨学金の貸与終了（卒業）の翌月から数えて7か月目から返還開始→P.20
- いつでも繰上返還できる→P.14

# 国の教育ローンについて 貸与奨学金案内 P.21より

- **入学時特別増額貸与奨学金**は、「国の教育ローン」を申込み、低所得が理由で利用できなかつた場合に貸与される
- 高校から渡される「**採用候補者決定通知**」を確認し、「国の教育ローンの申込み**不要**」の場合も貸与される
- 「採用候補者決定通知」に「国の教育ローンの申込み**必要**」なら手続きを

# 国の教育ローンつづき

## 「国の教育ローン」チラシより



- **借り主は保護者**
- 融資額上限350万円、特例で450万円まで
- 国内だけでなく外国の大学にも使える
- 入学金や授業料、自宅外通学の住居費など、使いみちの範囲が非常に広い
- 申込みは1年中いつでも可能
- 国の教育ローンに申し込んで採用された場合、JASSOの入学時特別増額貸与は利用不可

# 労働金庫（ろうきん）のつなぎ融資 貸与奨学金案内 P. 22より

- JASSO奨学金はすべて入学後の振込みのため、入学前の納入金には使えない
- JASSOの入学時特別増額貸与奨学金の採用候補者になった者は、労働金庫（ろうきん）の「入学時必要資金融資」（通称：つなぎ融資）に申し込む
- 借り主はあなた（合格が決定した人）
- 進学後、JASSOの入学時特別増額貸与奨学金で一括返済する

# 4. マイナンバー提出書類

「マイナンバー提出書」のセット

- (内訳) ・「マイナンバー提出書」
- ・【重要】マイナンバー（個人番号）の提出方法
- ・「提出用封筒」

スカラネット(インターネット)で奨学金を申し込み受付番号が発行された後、「マイナンバー提出書」によりマイナンバーを提出(郵送)してください。

- スカラネット(インターネット)入力
  - この中の「マイナンバー提出書」に印字されている「申込ID」と「パスワード」を覚えて、スカラネットにより、奨学金を申し込み込んでください。
  - 学校から交付される「学籍番号(ユーザID・パスワード)」の入力も必要です。
- マイナンバーの提出(郵送)
  - 奨学金申込者本人(生徒・学生)と生計維持者のマイナンバーを提出してください。
  - 同封されている「提出用封筒(表紙)」を使用して、郵便局の窓口から、郵便物等により郵送してください。

マイナンバーの提出期限      スカラネットで申込完了(受付番号発行後) << 1週間以内 >>



# マイナンバー提出書類

## 「マイナンバー提出書のセット」より

←おもて面  
うら面↓

### マイナンバー提出書 令和5年度 大学等予約採用申込者

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿  
私は、日本学生支援機構(以下、「機構」という)の奨学金の貸与奨学金、給付奨学金又は貸与奨学金と給付奨学金の両方を申し込むにあたり、私及び生計維持者のマイナンバー(個人番号)並びに機構が指定する番号確認書類等を提出します。また、私及び生計維持者は、機構が「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」及び関連法令で定められた範囲で各自のマイナンバーを利用すること及び地方税情報を利用すること、並びに機構が取得した各自の個人情報等を私への奨学金に関する案内に利用することに同意するとともに、私が機構から過去に貸与若しくは支給を受けた奨学金又は今後貸与若しくは支給を受ける奨学金についても上記のとおり同意します。

スカラネット(インターネット)奨学金申込用【申込ID・パスワードは1人ずつ違います】 (機構受付用)

申込ID	YD	パスワード
------	----	-------



・黒のペン又はボールペンで正確に記入してください。  
・氏名(署名)は、提出必要書類に記載の氏名を各自が記入してください。 記入例: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

申込者本人(生徒・学生)	フリガナ			記入日(西暦)	
	氏名(署名)			20	年 月 日
	マイナンバー(個人番号)				
	生年月日	昭和・平成		年	月 日
	現住所	〒			都道府県
		市区町村			
	電話番号	(固定)		(携帯)	
学校名					
提出必要書類	番号確認書類と身元確認書類の両方(うら面参照)				

スカラネットから奨学金を申込み後、チェック☑してからマイナンバーを提出  
(注) この提出書は、上記申込IDを使ってスカラネットから奨学金を申し込み専用です。  
スカラネット登録時の申込IDとマイナンバー提出書の申込IDが相違している場合は再提出が必要になります。

【生計維持者は、スカラネットで入力する生計維持者と同じ人になしてください。】

生計維持者①	フリガナ			続柄	
	氏名(署名)				
	マイナンバー(個人番号)				
	生年月日	昭和・平成		年	月 日
	提出必要書類	番号確認書類(うら面参照)			

(マイナンバー提出書 うら面)

### 提出必要書類 貼り付け台紙

- 同封している説明資料をお読みのうえ、「番号確認書類」と「身元確認書類」を用意してください。
- カードサイズ以外の書類(住民票等)は、貼り付けずに提出用の封筒に同封してください。

#### 申込者本人(生徒・学生)

##### 【番号確認書類】

(貼り付け欄)

##### 【身元確認書類】

(貼り付け欄)

#### 生計維持者 ①

##### 【番号確認書類】

(貼り付け欄)

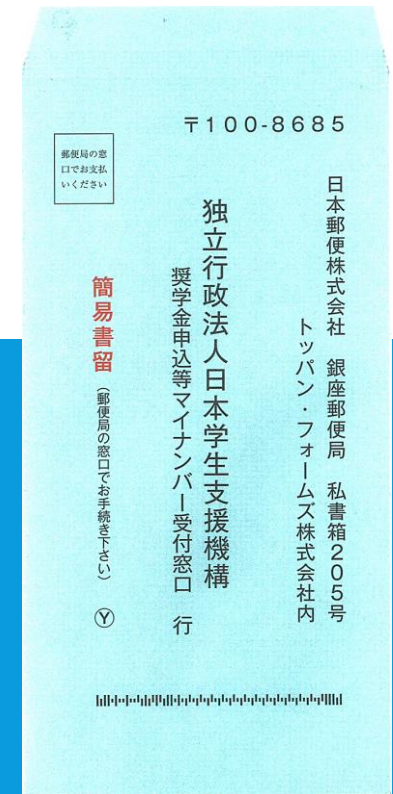
ホームページからも、マイナンバーの提出方法を確認することができます。  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/mos-hikomi/yoyaku/mynumber/index.html>



# マイナンバー提出書類

「マイナンバー提出書のセット」より

- ① 奨学金の**申込者本人**と  
**生計維持者2名(原則、父母)**の  
**マイナンバーが必要**
- ② 「提出書」**おもて面に署名**など記入し、  
**うら面に書類**を貼り付ける
- ③ **スカラネット入力後**に、**必ず簡易書留**で、  
**1週間以内にJASSOへ専用封筒で郵送**





# マイナンバー提出書類の注意

## 説明資料「マイナンバー（個人番号）の提出方法」

### ① マイナンバーカード 見本→

(写真付き) を持っている



場合：うら面とおもて面のコピーを貼る

(カードサイズに切ること)

### ② マイナンバーカードを持っていない場合：

番号確認書類 (個人番号記載の住民票など)

身元確認書類 (写真付き学生証など) が必要

# マイナンバー提出書類の注意つづき

## 説明資料「マイナンバー（個人番号）の提出方法」

### ③マイナンバー通知カード見本→

は記載住所氏名等に変更があった場合、使えません！



### ④申込者本人の身元確認書類としては

千里の生徒証（写真付き）がベストです

### ⑤身元確認書類は写真付きのものなら1点、 写真なしの場合2点必要

# マイナンバー提出書類の注意つづき

説明資料「マイナンバー（個人番号）の提出方法」

- ⑥ 生計維持者の番号確認書類は、マイナンバーカードのうら面コピー、個人番号記載の住民票写し（コピーまたは原本）、通知カードコピー等いずれか1点が必要
- ⑦ カードサイズ以外の書類は、貼り付けずA4サイズの紙にコピーして同封
- ⑧ マイナンバー提出書類に関して、学校は一切関与できない（自己責任で準備）

# 5. 申込みのてびき

# 申込みの流れ

## 申込みのてびき P.2より

- ① 手続きの期限や、スカラネットのIDやパスワードを確認・メモ →P.3
- ② 申込内容を「てびき」に記入 →P.4～12
- ③ 必要書類を用意→提出書類一覧 P.13～22を参照
- ④ スカラネット入力 →P.23～26
- ⑤ 学校に提出書類を提出 →P.27～28

「てびき」にはさみ込みの様式集を使用

# 申込みの準備【期限、IDなど】

## 申込みのてびき P.3より

- 説明会で配付した「スカラネット入力用のプリント」を見て、「てびき」P.3太枠内を記入しなさい
- スカラネット入力期限：5月27日
- 学校へ提出する書類：スカラネット入力後速やかに、担任を通じて進路へ提出する

# 申込みの準備【期限、IDつづき】

## 申込みのてびき P.3より

- 説明会で配付した「スカラネット入力用のプリント」を見て「学校から配付される識別番号」のユーザIDとパスワードを転記する
- 「マイナンバー提出書」記載のID・パスワード：水色封筒を自宅で開封し、必ず転記する（スカラネット入力時必要）

# 申込みの準備【あなた自身の情報】

## 申込みのてびき P. 4～5より

- P. 4「氏名・生年月日」「国籍」は自分で埋めておく
- P. 5「あなたの性別・連絡先」はJASSOからの連絡に使用
- P. 5「あなたの在籍校」は次の通り記入  
課程：全日制 学科：その他
- P. 5「JASSO奨学金の利用経験」は全員  
「いいえ（ない）」を選択



# 申込みの準備【希望する奨学金】など 申込みのてびき P. 6～12より

- P. 6「**希望する奨学金の種類**」は、保護者と相談して埋めること
- P. 7～8「**世帯の状況**」は、あなたと家族の状況を記入し、必要に応じて証明書類を準備する
- P. 9「**生計維持者の情報**」は特に正確に！  
→p. 11「よくある質問」も参照
- P. 10～12「**収入・資産の申告**」「**家族の特記情報**」は貸与型希望者のみ記入

# 必要書類準備 【必要書類一覧】 申込みのてびき P. 13～22より

- 希望する奨学金の種類によって必要書類は異なるので、よく読むこと
- P. 13の「記号A～V」までの提出書類について、「全員」とあるものは必ず準備。その他は申込む奨学金の種類によって必要なものを準備する
- P. 19「マイナンバーを提出できない場合」 P. 20「生計維持者が海外居住の場合」は、必要に応じて証明書類が必要

# スカラネット入力【入力・送信の流れ】

## 申込みのてびき P. 23～27より

- p. 23に載っているQRコードやURLを使い、「てびき」p. 4～12に自分が記入した内容をスカラネットから入力する
- 自宅PCまたはタブレット、Chromebook等を利用し、自分で入力する
- 入力画面は、1画面30分の制限時間あり
- スカラネットへのログインは、p. 3に記入した2組のID・パスワードを使用

## 4. スカラネット入力上の留意点

### ログイン

学校から交付する「**生徒用**識別番号」（ユーザID・パスワード）と、「**マイナンバー提出書**」に記載の「**申込ID・パスワード**」の**2組のID・パスワードが必要**です。

### 「新しいパスワード」と「秘密の質問」を設定

初回ログイン時に「**新しいパスワード**」と「**秘密の質問**」を設定します（右図参照）。新しいパスワードは忘れないよう、申込みのてびき3ページにメモしておきます。

### 時間制限

**各画面30分でタイムアウト**となるため、「申込みのてびき」の下書きの記入を完了させてから入力します。

「**一時保存機能**」を使うと、入力内容を一時保存することができますので、小まめに保存しながら入力を進めてください。

### 受付番号

入力（データ送信）完了後、画面に表示される「**受付番号**」を控え、各提出書類の受付番号欄に記入します。

#### ○新しいパスワードの設定

新しいパスワードを設定してください。

【パスワードの管理について】

- 第三者に推測されやすい数字や英字（生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等）を使用しないでください。
- 第三者にパスワードを教えないでください。
- パソコン・スマートフォン内にパスワードを入力したファイルを保存しないでください。
- 第三者の目につく場所にパスワードを記入したメモを残さないでください。

【パスワードの作成条件】

- 半角の英字、数字を含む組合せであること。
- 8～16文字以内であること。
- ユーザIDと異なる文字列であること。
- 現在登録済みのパスワードと異なるものであること。

新しいパスワード

新しいパスワード（確認用）


#### ○秘密の質問を設定

パスワードを忘れた場合に必要となる秘密の質問を設定してください。

(注) 秘密の質問は他人に推測されにくいものを設定してください。

秘密の質問

秘密の質問の回答（全角）

**変更** 

# スカラネット入力【受付番号の確認・メモ】 申込みのてびき P. 25～27より

- 正常に送信が完了すると、画面上に「受付番号」が表示される→必ずp. 25に記入
- 入力途中で一時保存できる
- 入力内容の訂正は、「受付番号」発行後5日以内ならすべての項目で可能
- スカラネット入力後1週間以内に、マイナンバー提出書類をJASSOに郵送

# 書類の提出【マイナンバー／それ以外】 申込みのてびき P. 28より

- マイナンバー提出書類は水色封筒に入れ、簡易書留で郵送（郵便局の窓口に行く）
- マイナンバー以外の提出書類は、「様式集」P. 1を表紙にして、必要な書類とともにホチキス留めし、速やかに学校へ提出
- 学校へ提出する書類は、記入例をよく見て作成し、担任を通じて進路へ提出
- サインは本人、保護者が別の筆跡で自筆

# 書類の提出【申込後の確認】

## 申込みのてびき P. 29～30より

- 学校に提出する書類のうち、「学修意欲の確認」レポート用紙はホチキス留め不要
- マイナンバー提出書類に不備があると、JASSOから申込者へ直接連絡がある
- 提出書類に不備があると審査が遅れたり、照会に回答しないままだと不採用になる
- 選考結果の通知は学校に届くが、スカラネットでも確認可能

## 6. 奨学金についてのお問い合わせ窓口を開設しています。

奨学金希望者（生徒・父母）等からの奨学金の手続きに関する一般的なお問い合わせに関する電話相談窓口として、「奨学金相談センター」を開設しています。

### ○ 日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話（ナビダイヤル）：0570-666-301（平日 9時～20時）

マイナンバーの提出に関するお問い合わせは、別途設置している以下の専用相談窓口で対応しています。

### ○ マイナンバー提出専用コールセンター

電話（ナビダイヤル）：0570-001-320（平日 9時～18時）